



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Hisashi Shimada 〒659-0093 3-13, Funado-cho, Ashiya, Hyogo, JAPAN
 Mail : freedomism@nifty.com Phone : 0797-38-4936
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 「世を照らす光となるう」
 Philip Mathai(インド) "Be the light of the world"
 アジア地域会長 「歳月 Y's をワイズ(賢者)にする」
 Oliver Wu(台湾) "Years bring wisdom"
 西日本区理事 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう」
 成瀬 晃三 クラブで、地域で、国際社会で、
 "Let Y'smen Light Shine before Others,
 in the club, in the community, in the world"
 六甲部部长 「柔軟な創造で愚直に積極的な」
 上野 恭男 ワイズライフを楽しもう」
 "With the heart filled with creative evolution.
 Let us enjoy Y's life. Faithfully and constructively!"
 芦屋クラブ会長 「奉仕する共同体」
 島田 恒 'Serving Community with YMCA'

会 長 島田 恒
 直前会長 都筑省三
 副 会 長 羽太英樹・堤 清
 書 記 桑野友子・福原吉孝
 会 計 羽太英樹
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六 甲 部 上野恭男(部長)・加輪上敏彦(事務局長)
 柏原佳子(書記)・桑野友子(会計)

12

Nov. 2012
 第 187 号

今月の聖句

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。……羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話した通りだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。ルカによる福音書 2章 8～20節

芦屋クラブ15周年記念講演会とEMCへの期待

EMC 委員 羽太英樹
 国際ワイズメンズクラブにはやたらアルファベットの略語名称が多く、芦屋クラブに入会して6年近くなるが未だに混乱する時もある。さて、今月は「EMC 強調月間」と定められている。本年度には残念な井上雅司氏の退会があり、EMC 委員を氏より引き継ぐことになった。会員増強が主な趣旨のようであるが、原文は“Extension, Membership and Conservation”である。ハンドブックに記されている略語の日本語訳には「新クラブ設立、会員増強と意識高揚」とある。芦屋クラブの会員は20名のラインを上がったたり下がったりのレベルで推移している。いろんな事情で去って行く方もあり、一方で熱心な会員によるEMC精神を發揮しての入会勧誘の成果もあった芦屋クラブの歴史である。さて、芦屋クラブは来年2013年には誕生して15周年を迎える。島田会長の肝いりで4月21日には芦屋市民に広く呼び掛けて、グルーベル関西学院院長をスピーカーに招いて15周年記念講演会がラポルテ・ホールにて開催される。YMCAとワイズメンズクラブのボランティア活動を広く知ってもらおうと共にEMCへの期待も膨らむ記念の企画である。成功裏に終えるべくメンバー全員で頑張ろう。

15周年記念クリスマス祝会プログラム

と き: 2012年12月23日(日) 18:00~21:15
 と ころ: ホテル竹園3F
 司 会: 福原吉孝 (敬称略)
 開会点鐘 島田 恒会長
 ワイズソング斉唱 一同
 第1部 礼拝
 讃美歌「もろびとこぞりて」 一同
 聖書朗読 羽太英樹
 祈祷 加輪上敏彦
 奨励「光はすべての人に」 土井健司牧師
 讃美歌「あれ野のはてに」 女性一同
 祝 詞 土井健司牧師
 来賓、祝辞挨拶
 第2部 ミュージックアワー モレ四重奏団
 第3部 会食、歓談
 食前感謝
 乾杯
 会食、歓談、ゲスト・クラブ紹介
 第4部 パラダイスアワー
 オークション 藤田良祐連絡主事
 ミュージック&ダンスタイム
 フィナーレ モレ四重奏団
 YMCAへ献金贈呈
 YMCAの歌 一同
 きよしの夜 一同
 閉会挨拶 羽太英樹副会長
 閉会点鐘 島田 恒会長

11月例会出席表

第1例会出席者	例会出席率	BF切手 (累計)
メンバー 12名	出席者 12名	7.5 kgm (7.5kgm)
ビジター 1名	メイクアップ 1名	
ゲスト 2名	合 計 13名	
メネット 1名	在籍者 17名	ニコニコ (累計)
合 計 16名	(内広義会員 1名)	14,200 円
	出席率 81.3 %	(95,939 円)

11月第1例会報告

日時：2012年11月21日(水)19時～21時
場所：市民センター203号室
出席者：五十嵐かおる・上野・柏原・加輪上・桑野・島田・都筑・羽太・福原・藤田・藤川・堀江・渡辺
ビジター：笹崎政人
ゲスト：権甲植・井戸麻世(敬称略)

今月は市民センターを会場として開催されました。落ち着いた雰囲気です。それなりに良かったと思います。

ゲストとして権甲植牧師(3回目)、井戸麻世さん(三宮YMCAリーダー)、ビジターに笹崎政人さん(島田会長の元会社の後輩の方)をお迎えしました。井戸麻世さんは10月6日～8日の熊本県の阿蘇YMCAキャンプ場で開かれた全国リーダー研修会に参加した3回生の学生さんです。「初心を忘れない」をテーマに良いリーダーになるための話し合いがなされたという報告がありました。そのあと食事、歓談に入りました。食事は「業平」のバイキングでした。

お話はメンバーズスピーチで藤川晃成医師の「中高年の健康講座」というテーマでお話されました。日本は世界一の長寿国



であるが我が国の老人は幸せなのか。それは悲劇的な高齢化社会になっていないか、不幸なお年寄りを増やしているだけではないか。オランダでは安楽死を認めていると問題提起。日本は延命医療になっているのではないか。最新の器具でドンドン

検査して、しなくてもよい検査をしているのではないか。今のままでは若い人には大変な負担になる。具体的な例をあげながら今のままでは医療保険制度を維持することは難しいと思う。

一方健康を意識し過ぎの人がいる。健康のために生きるのではなく、自己実現の人生を生きるために健康が必要である。また病気は遺伝、ストレス、加齢が3大要因であるが、そのうちストレスだけが本人の努力次第でコントロールできる。それは生活習慣に大きく負っている。その生活習慣病予防のための健康をつくるライフスタイルのお話がありました。

私たちにとって身近な興味あるお話であり、質問も多く出て時間の立つのが早く感じました。定刻に終了しました。

都筑省三

全国YMCAリーダー研修会報告

今年の全国リーダー研修会は熊本の阿蘇YMCAで行われ、全国から約90人のコースリーダーが集まりました。研修のテーマは『初心』でした。リーダー歴の長い人たちはリーダーを始めた時の初々しい気持ちを思い出し、リーダーを始めたばかりの人たちは今の気持ちを忘れないようにしよう、というのが研修会のねらいでした。

何度も色々な人たちと話し合いを繰り返し、それぞれの『初心』について考えました。今の自分の活動を振り返り、リーダーを始めたころのキラキラした気持ちを忘れずに、これからもリーダー活動を続けていきたいと改めて感じる機会になりました。研修会参加にあたり、ご支援をいただいたワイズメンズクラブの皆さまに心より感謝いたします。ありがとうございました。

三宮YMCAリーダー会 3回生 井戸麻世



YMCA国際協力街頭募金

六甲部部长宛て、各ワイズメンズクラブに国際協力募金協力の依頼がありました。例年、11月～2月は神戸YMCA協力募金強化月間として「街頭募金」を行っています。私は、参加したのは3回(芦屋クラブ独自の募金活動があったため)ですが、今年は寒かった！ボランティア



アの精神に心は熱かった！と言いたいけれど、実に寒かった！です。さすがに予定が30分短縮された時は嬉しかったです。まばらに足を止めてくだ

さった方には申しわけのないですが、大好きな神戸元町は寒い街でした。ただ隣で大きな声で懸命に主旨(東日本大震災支援)を叫び続けた学Yの青年たちを応援する気持ちで胸が熱くなりました。ルミナリエで混雑した街はお店もいっぱい、ようやくのコーヒーとケーキがこれほど幸せな気分させてくれるとは、感謝です。参加者：上野・島田・柏原(各メン・ウィメン)

柏原佳子

芦屋クラブ創立15周年記念例会

クラブとして実行委員会を設け何度も会合をもち、ときには拡大委員会を開いて検討を重ねてきた。会場の制約を含めて試案をつくり、11月第二例会で次の方針を決定した。

創立15周年記念行事の狙いとしては早くから、芦屋市民にメッセージを発信し、YMCA やワイズの目指す大切なものを紹介し、人生への思いを深めていただき、共感をいただく機会を計画する。

具体的には、来年4月21日(日)午後、JR芦屋駅前ラポルテホールでの講演会・コンサートである。講演者には関西学院グローバル院長を招き、コンサートは神戸女学院大学音楽学部OBで構成する評判の高いプティ・タ・プティの出演が決定している。

出演者の関係も活かし、このイベントには関西学院同窓会芦屋支部、神戸女学院同窓会芦屋支部の賛助もいただくことになっており、参加の基盤になるとともに、このようなイベントを通して芦屋ワイズに参加して下さる方も出てくるのではないかと期待も膨らませている。

上記イベントが、ワイズから外部の社会一般に発信するものであるとするならば、ワイズ仲間での、いわば内部祝会も看過することはできない。議論を重ねた結果、芦屋クラブが評判をいただいているクリスマス会に創立15周年記念を重ね合わせて挙行することになった。12月23日(日)竹園ホテルでの開催である。多くのワイズ仲間に参加していただき、例年の内容を充実させたプログラムが計画されている。

15周年という節目の記念資料は4月に発行される予定となっている。YMCAやワイズの働きは、広く社会や人に貢献し、そのための協働を通して喜びを共有することであろう。そこにワイズの「楽しさ」の本質があると考えられる。この度の記念行事はそのような希望を実現していきたい。

島田 恒会長

「チャリティワインを楽しむ会」に参加しました

12月3日に開催された神戸YMCA「チャリティワインを楽しむ



会」は、神戸ポートピアホテル31階のミシュラン2星レストラン「トランティアン」で開かれ、芦屋クラブから柏原ウイメンと2人で参加しました。今回で26回目、

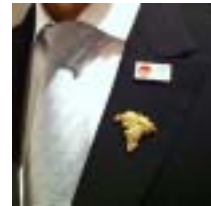
通算で300万円ほどの募金があり、今回は、東日本大震災にも応分の募金をするとの報告がありました。

1999年10月に第1回を開催して以来、神戸YMCAでは、2004年度より「子ども奨学金」を設けました。この奨学金は、神戸YMCAの主催する青少年プログラムに、経済的事由のために参加したくても参加できない18歳未満の青少年に対し



て支援をし、その心身の健やかな成長に資することを目的として設置されました。「チャリティワインを楽しむ会」では、一人でも多くの子どもたちを支援するために収益の全額をこの

「子ども奨学金」に捧げています。



岡本シニアソムリエのバッジ

岡本シニアソムリエから本日のワインの話があり、シャンパン、白、赤の3種類のワインはそれはおいしく感じられました。「トランティアン」の2星の味はとって繊細で、明石の鮮魚、黒毛和牛のほほ肉など特選料理に満足したことは言うまでもありません。

食事のあとは恒例のオークション、加茂ワイズによるオシャレなひと時、すべて完売してお開きになりました。ワインの販売、オークションでの購入品が大量になり、YMCAに預かっていただき手ぶらで帰れたのが何よりでした。

上野恭男

芦屋クラブの使用済み切手収集と整理

福原吉孝

永年に渡り芦屋クラブで収集された使用済み切手の行先が決まり、嫁入り前のお化粧直しとして、整理をする事になった。11月15日に桑野ウイメン宅に精鋭が集まり、ハサミでお色直しを行った。メンバーは、島田会長を筆頭に、上野、加輪上、福原の4名のメンと桑野、柏原の2名のウイメンが桑野宅に集まった。収集された切手の中味は、国際IBCを締結し芦屋に表敬訪問のあったオーストラリアのエチューカクラブと交換した切手、毎回熱心に郵送して頂く横浜に転出された町永先生の切手、退会された吉岡氏からの切手など皆様の熱意と善意の気持ちのこもった切手等々である。さて、桑野宅での作業は、うんざりするくらい膨大な切手量を前に「出来るかな…」という思いであった。切手を傷つけないように周りを切るという単純な作業はハサミを持つ手が疲れ、だるくなる。ただ外国の切手、日本の切手の違い等が面白く観察でき興味深く進行した。7名でワイワイと笑いと喋りをしながら意外に楽しい時間であった。ゴルフの話、政治の話、グルメの話と多岐に渡る話題で疲れは吹き飛び、見識ある面白い話題でアツという間に作業が終わる感じであった。実働時間は2時間程度であった。メンバーの個性があり、黙々と作業に集中する方、ハサミを使う手を止め、お喋りに夢中になってしまう方々楽しそうに作業が進行した。やっと終了し、全員で拍手をして、何とも言えない「やったー」という喜びと達成感を味わった。

さて次は柏原ウイメン宅に場所を移しての食事会。上野メン提供のワインとチーズとチョコレートで軽く頂き、いい気持ちになり、メインディッシュは桑野ウイメンの入念に準備して頂いたカレーを美味しく味わい賑やかで楽しい会話を楽しみながらの食事となり、笑いと満足感でいっぱいとなった。皆様、本当にご苦労様でした。ファンド委員から心から御礼申し上げます。この収集使用済み切手は、国内切手:6.7kg、海外切手:0.8kgであった。この切手は、2013年1月12日にYYフォーラムの時、六甲部に提出する。最後に使用済み切手収集の意義を述べておきたい。BF基金の重要な原資であり、国際役員、BF代表の公式行事参加の旅費等の資金源である。全Ysメンの参加による資金で換金され国際的にも重要な活動である。時代の変遷により、次第に集めにくい状況であるが、今一度、Ysメンのご理解とご協力の継続をお願いしたいと思う。

六甲部だより

六甲部交流事業懇談会が23日(日・祝)芦屋クラブクリスマス祝会の前に9Fラウンジで開催され、上野部長・石田交流主任他17名が出席されます。芦屋クラブからは柏原交流委員が出席します

六甲部後半の行事(2013年1月～6月)としては

1月12日(土) YFフォーラム

3月16日(土) 第2回評議会

4月/5月 六甲部4クラブの周年行事が開催されます
お互いに参加して大いに交流を深めましょう

11月第2例会議事録(抄)

場所: 芦屋市民センター 206号室

日時: 10月28日(水) 19:00～21:00

出席者: 島田会長、上野、柏原、桑野、都筑、羽太、
福原、堀江、藤田連絡主事 (敬称略)

2012～13年度第1例会プログラム

1月第1例会: 1月16日(水) 細谷氏の「ワインの話」

2月第1例会: 2月20日(水) 次期役員選出&タイワーク
キャンパー挨拶

3月第1例会: 3月20日(水)

4月第1例会: 4月21日(日) 15周年記念講演会

5月第1例会: 5月15日(水)

6月第1例会: 6月19日(水) 振り返り&次期の抱負

3月&5月は福祉関係の話を大澤氏に打診、またタイワーク
キャンプ参加リーダーの報告等を候補として依頼する

10月度会計報告が羽太会計によりなされ承認された

15周年記念例会

・2013年4月21日はラポルテホールにて(芦屋)ワイズメン
ズクラブの活動を芦屋市民に周知するための「記念講演会
と音楽の集い」を行い、終了後簡単な懇親パーティーで交
流を深める(会費: 1,000円)

・2012年のクリスマス祝会は15周年記念懇親会を兼ね
て開催する

留学生交流会

・2013年2月6日(水)、ブルーミンメドーにてポトラックにより
開催する

YFフォーラム

・2013年1月12日(土) 13:00～17:00

神戸YMCAにて開催

参加者: 島田会長・田舎・上野・柏原・桑野・都筑

・羽太・堀江・福原(9名)

芦屋クラブ会則変更

上野メンよりの提案に基づき検討、休会制度は決定した
(休会中の会費は半額)青年会員制度は年齢を明記する
かどうかで再検討する(継続審議)

次期部メネット主査の選任については五十嵐がほるメネット
に打診する

書記 桑野友子

YMCAニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

第15回チャリティーラン、開催

11月3日(祝・土)、恒例のチャリティーランが神戸しあわせ
の村で開催されました。ランナー769名、ボランティア、スタッ
フ合わせて2,100名を越す来場者があり、盛況でした。この
催しに関わられた多くの方々に心から感謝いたします。

ユースプラザ、スイーツコンテスト開催

11月11日(日)に、ユースプラザ KOBE・EAST 主催で
中高校生のためのスイーツコンテストが開催され、6組の中
高校生チームが参加し、楽しくおいしいスイーツが披露され
ました。これは神戸の特色ある文化であり、資源であるお菓
子をテーマに中高校生が輝くように企画されたプログラムで、
今回が第1回目。創作されるお菓子は「あなたの街神戸」
をテーマに作成され、持ち寄られ、プレゼンテーションによる審
査が行なわれました。

YMCA セミナー、開催

11月17日(土)にYMCA セミナーが開催され、40名ほどの
の方々が出席くださいました。「原発とバベルの塔の物語」をテ
ーマに、関西学院大学法学部の栗林輝夫先生をお招きし
て、キリスト教や聖書から原発をどのように考えるか、というこ
とをテーマとしてお話を伺いました。

今後の予定

1) 新春YFフォーラム

日時: 1月12日(土)午後1:00～5:00

場所: 神戸YMCA チャペル 他

テーマ: 「『個性』の伝道師がやってくる」

2) 特別講演会「いのちの輝き」

ホスピス医療の第一人者として活躍されてきた柏木哲夫
先生をお招きして、ホスピスでのご経験や東日本大震災、
また自殺やいじめなどの「いのち」の軽視を総括的に捉え、
「いのちの輝き」の意味に迫っていただく会を計画していま
す。

日時: 2月16日(土)正午～午後2:30(予定)

場所: 神戸YMCA 4F サイコー亭

講師: 柏木哲夫氏(淀川キリスト教病院名誉ホスピス
長、金城学院大学学長)

テーマ: 「いのちの輝き」

編集後記:

京都(鞍馬)大阪(千里)神戸(六甲)などの各地で寒か
ったせいかこの秋は鮮やかに色づいた紅葉を楽しみました。
師走に入りました。選挙による政治の変動・クリスマス・お
正月の準備などの何かと忙しいときですが、風邪などひか
ぬように健康に留意して新しい年を迎えたいと思います。

堀江哲次